



初夏模様の鎌原観音堂

唐沢忠夫友の会会長ご挨拶	P-1
土屋栄太郎郷土資料館館長ご挨拶	P-1
平成29年郷土資料館友の会総会	P-2
企画展「草軽電鉄と婦恋村」	P-2
平成29年「婦恋学」講座	P-2
鎌原観音堂「身護団子」「浅間山噴火大和讃」見学会	P-3
ボランティアガイド養成講座	P-3
春の懇親会が開かれました	P-3
「草軽電鉄跡地めぐり」「婦恋駅と芦生田線路跡...」	P-4
資料館周辺の落ち葉の清掃と植木の刈込・草刈	P-4
お知らせ	P-4

編集 郷土資料館友の会

2017年6月発行

第 25 号

郷土資料館 友の会だより

婦恋郷土資料館「友の会」（唐沢忠夫会長）では、平成29年も様々なイベントを企画、活発な活動を繰り広げてまいりました。今回の「友の会だより」第25号では、平成29年上半期のイベントや活動の様様をダイジェストとしてご紹介いたします。

唐沢忠夫友の会会長ご挨拶



新緑にまつまれ、農家の皆さんには特産のキャベツ植えで大忙しの日々が続いております、また、浅間高原等観光地においても活気が出てまいりました。会員の皆様には常日ごろ資料館友の会の活動にご協力を頂き有難うございます。資料館友の会の活動も資料館を拠点に、村内外文化財、史跡と村の自然、文化を学び、郷土の理解と親睦を深めてまいりました。今年度も事業計画に基づいて執行して行きたいと思っておりますので皆様多数の参加をお願いいたします。また、平成21年度に県内市町村誌にみる「天明3年浅間焼」とし、群馬県内の市町村誌に記載されているものをコピーして編纂いたしました。さらに、今年度は利根川流域を中心とした関東圏内の区市町村誌より天明の浅間山の大噴火に関する資料収集、編纂を年度内にまとめる予定です。浅間山大噴火より降灰、泥流等による人畜への被害、田畑等市町村別状況を知るうえで史料価値があり活用してください。

土屋栄太郎郷土資料館館長ご挨拶



平成28年4月1日付けで資料館に勤務して早くも1年3ヶ月が過ぎました、御歌碑建立に始まり3月17日企画展開催まで、感謝、ありがとうの心で職務にあたってまいりました。また郷土資料館友の会、ボランティアガイド会の皆様、高山蝶、熔岩樹型、レンゲツツジなど文化財の保護活動に携わっていただいた皆様、並びにさゆみの会の皆様等々には平素から資料館の運営・発展に対しまして、ひと方ならぬご理解とご協力を賜っておりますこと、心より

厚く御礼申し上げます。（次ページに続く）

(前ページからの続き)

さて、昨年9月9日に浅間山北麓ジオパークが日本ジオパークに認定され、エリアの拠点施設として協力する一方、施設連携として通年での鬼押し出し園との共通券契約を締結し入館者の増加につとめています。今後も来館者のために役立つ教育・文化の施設として、充実させてまいります。重ねて皆様のご指導ご協力をお願い申し上げます。

平成29年郷土資料館友の会総会



平成29年3月31日に郷土資料館におきまして会員15名の出席をいただき、平成28年度の「郷土資料館友の会」総会が開催されました。総会後には松島榮治先生の特別講演も開かれました。(欠席の会員の皆様方には総会資料を送付させていただきました。)

企画展「草軽電鉄と孺恋村」の開催

平成29年3月17日から10月29日までの予定で「草軽電鉄と孺恋村」企画展が開催されています。特設会場には草軽交通(株)よりお借りした本物の鳥瞰図(線路絵図)、初公開の切符類、開通初期の蒸気機関車模型、その他資料が展示されています。孺恋村の産業・文化の発展に寄与し、村人たちに愛された「デキ12型」(通称カブト虫)のゴットン、ギーギーの音に懐かしさを感じる人たちが大勢来館されています。上毛新聞でも紹介されました。



平成29年「孺恋学」講座

2月、3月に浅間山ジオパーク推進協議会共催で「孺恋学」8講座が開講されました。8講座合計で332名の方々に聴講いただきました。



- ・2月4日 「浅間連峰に舞う高山蝶」 講師 宮崎光男氏
- ・2月11日 「地域おこし協力隊から見た孺恋」 講師 牧野直人/
千野田明理/荒井西夏各氏
- ・2月18日 「天明三年の畑地耕作「ツカ」」 講師 関俊明氏
- ・2月25日 「戦争遺産と浅間山に埋もれた我が国初のロケット」
講師 下谷通氏
- ・3月4日 「あづまはや」 講師 尾上友紀氏
- ・3月11日 「浅間山ジオパークの不思議と魅力」
講師 黒岩俊明氏
- ・3月18日 「石造物に遺る天明三年浅間押し記憶」
講師 嶋村明氏
- ・3月25日 「加沢記」に記された孺恋村と鎌原氏」 講師 鎌原郷司氏

鎌原観音堂「身護団子」と「浅間山噴火大和讃」見学会

3月18日(彼岸の入)観音堂で鎌原村奉仕会の皆様方が準備される「身護団子」調整、飾り付け、3月20日(彼岸の中日)には「浅間大和讃」奉納の見学を宮崎光男ボランティアガイド会会長の案内で見学をさせていただきました。あらためて、長年の間引き継がれてきた伝統文化の大切さ、重要さを一同が感じた彼岸の行事でした。



ボランティアガイド養成講座が開催されました



・4月8日 「郷土資料館をガイドしよう」

講師:山口岩美氏

・4月22日 「鎌原観音堂をガイドしよう」

講師:土屋澄孝氏



・4月29日 鎌原巡り「埋没村落の史跡をぶら鎌」

講師:英和男氏

・5月6日 草軽電鉄を足で探る「上州三原駅と線路跡をたどり歩く」

講師:宮崎光男氏

春の懇親会が開かれました

4月10日 春の懇親会が三原の中居屋さんで開かれました。熊川村長さんも出席され、参加者の皆様方と共に将来の村、郷土資料館像を熱く語られておりました。

山菜てんぷらに手打ちそばに、そして美酒を大いに楽しんだ懇親会でした。



「草軽電鉄跡地めぐりN0.1 軽井沢から草津」の開催



5月30日 好天のすがすがしい一日、2017企画展関連見学会としての草軽電鉄跡巡りバスツアーが開催されました。草軽電鉄新軽井沢駅跡地の変わりようにびっくりしたり、国境平駅付近の線路跡では探検気分になったり、眺めの素晴らしい「仙ノ入」キャベツ畑を通過して草津温泉駅跡と言われる記念碑にたどり着きました。途中の北軽井沢駅前の北軽観光協会ではコーヒーのサービスまでいただき、ありがとうございました。次回シリーズの開催要望も参加者の皆様方から多く出されました。

「孀恋駅と芦生田線路跡常林寺までたどり歩く」の開催



6月11日 ボランティアガイド会主催 友の会後援で「孀恋駅と芦生田線路跡常林寺までたどり歩く②」催しが開かれました。好天のもと宮崎光男ボランティアガイド会会長の案内で23名がJR万座・鹿沢口駅前から常林寺まで草軽電鉄線路跡をたどって歩きました。旧孀恋駅前では、草軽時代にカフェや旅館、映画劇場などにぎわった話に興味深々、きつい勾配を避けてぐるっと迂回した線路跡に感心するやら、往復6kmを和気あいあいと歩きました。孀恋村観光商工課からは参加者に今回新しく記念品として作成されました草軽電気鉄道切符(2等50円と記載されてますが、この券では乗車できませんと書かれています)をいただきました。ありがとうございました。

資料館周辺の落ち葉の清掃と植木の刈込・草刈を行いました

- ・4月22日には資料館周辺のボランティア落ち葉清掃作業が20名の参加により行われました。さっぱりした装いで、連休中の多くの来館者を迎えることができました。
 - ・6月13日には恒例の資料館周りの植木の剪定、草刈作業が12名のボランティア参加で行われました。
- 参加いただきました皆様方お疲れ様でした。

お知らせ

- ・孀恋郷土資料館では孀恋村観光商工課公衆無線LAN整備事業により平成29年5月9日から無料の公衆無線LAN (FREE Wi-Fi) が利用できるようになりました。接続可能範囲は孀恋郷土資料館1階ロビーで、無線LANに接続できる機器があれば誰でも無料にご利用いただけます。
 - ・昨年11月より「孀恋村 鎌原観音堂一奉仕会」のFacebookが誕生しています。みんなで”いいね”応援を!
- <https://www.facebook.com/kannonndou/>
- ・観音堂前のトイレが、清潔で気持ち良いトイレに生まれ変わりました。

